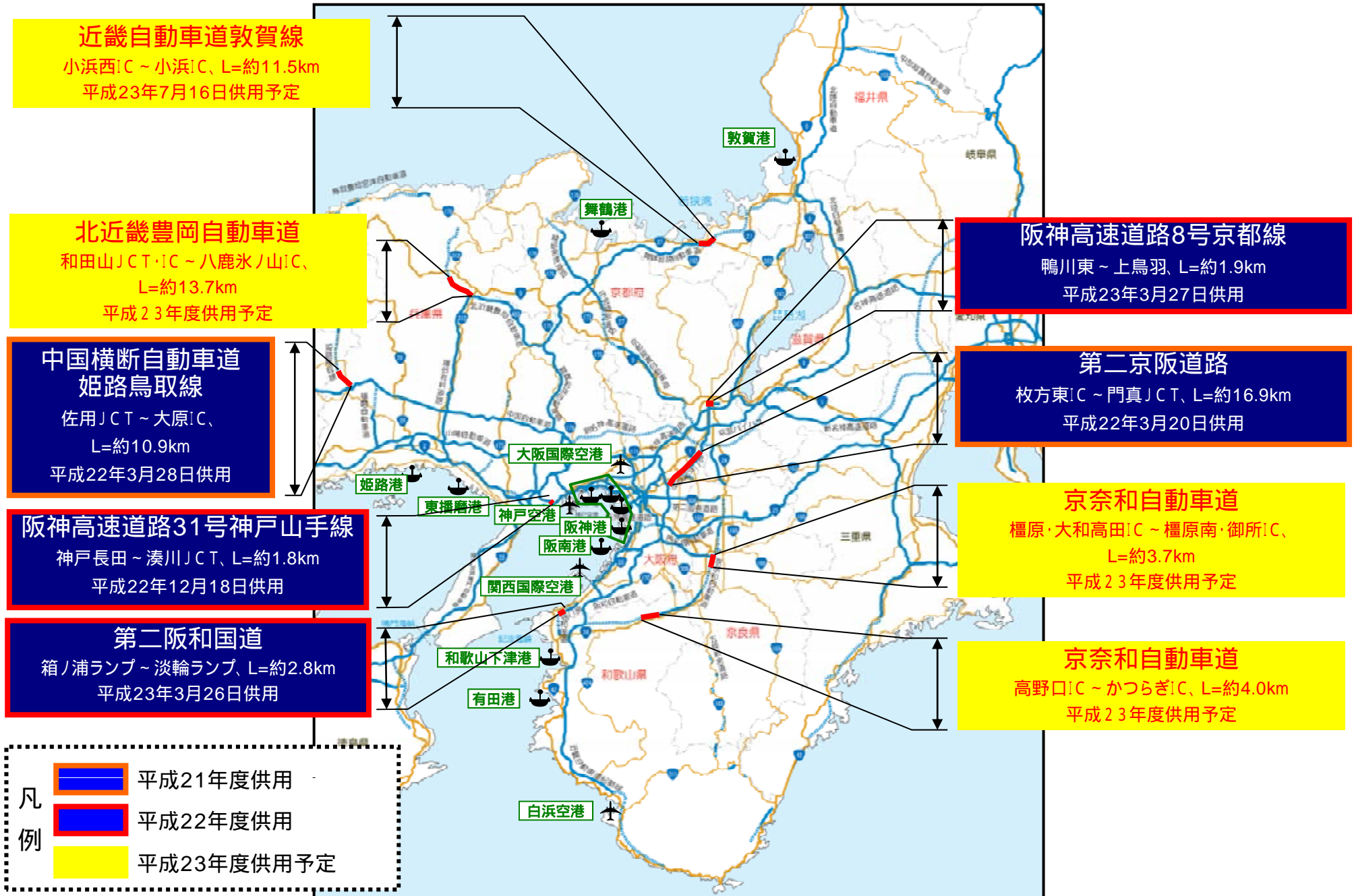


《港と道路の連携》

平成23年度
国際物流基幹ネットワークの形成
に向けた取組

高規格幹線道路等ネットワーク 平成21～23年度供用(予定)区間



大阪湾周辺地域の幹線道路ネットワーク

産業・経済の物流拠点が集積する大阪湾周辺地域の幹線道路ネットワークのミッシングリンク解消

淀川左岸線延伸部(約10km)

- ・ H6年12月 地域高規格道路の候補路線に指定
- ・ H18年12月 奨励すべき計画案提言
(淀川左岸線延伸部有識者委員会)

大阪湾岸道路西伸部(約21km)

- ・ H6年9月 8期 都市計画決定(長田区～垂水区)
- ・ H7年 地域高規格道路の整備区間指定
- ・ H21年3月 9期 都市計画決定(東灘区～長田区)

京奈和自動車道(大和北道路) (約12.4km)

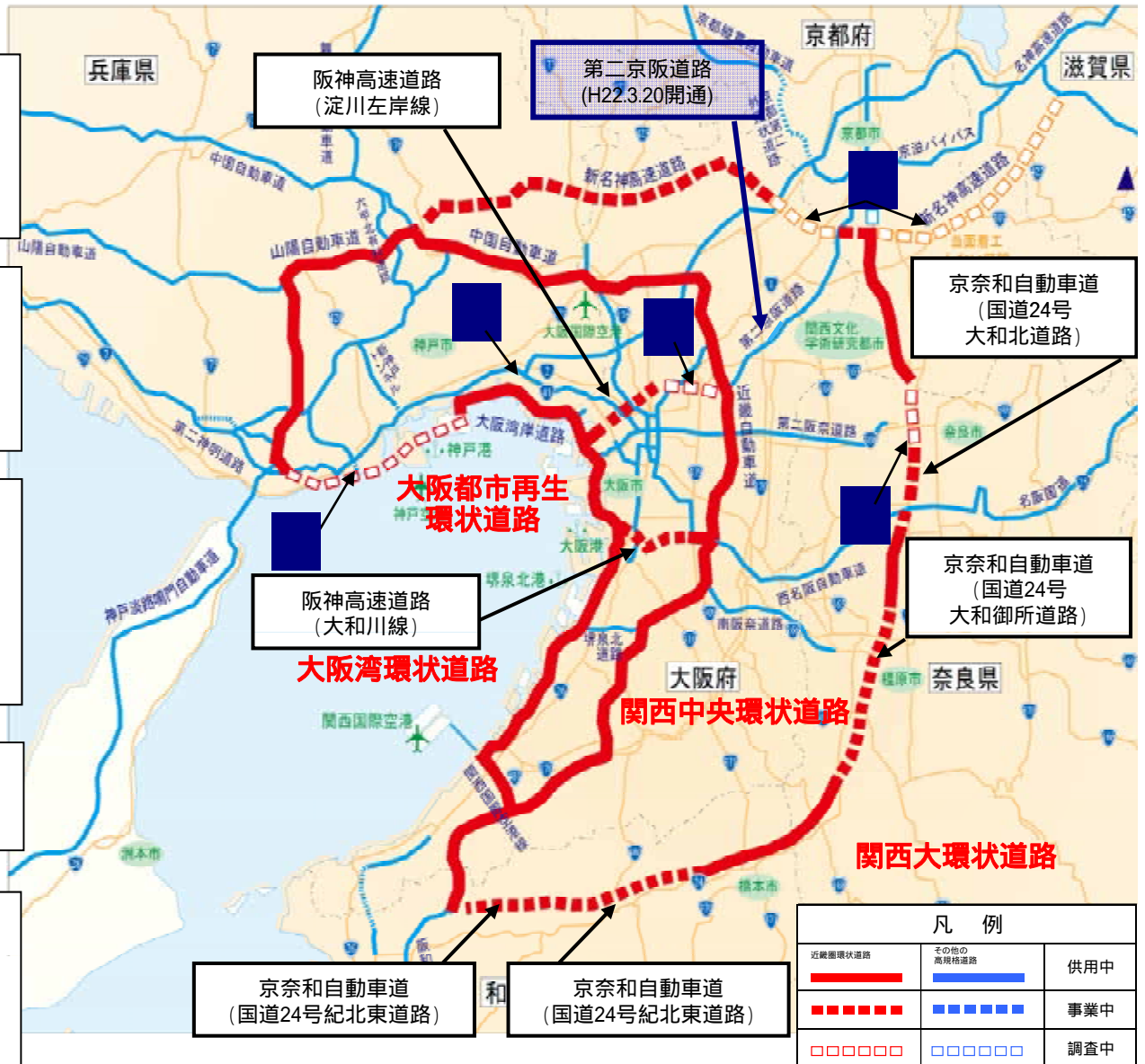
- ・ H20年3月 奈良県、4月京都府 都市計画決定
- ・ H21年3月 平成20年度新規事業化 6.3km
(奈良IC～大和郡山JCT)

名神湾岸連絡線(約4km)

- ・ H10年12月 地域高規格道路の調査区間に指定

新名神高速道路(大津JCT～城陽JCT間、 八幡JCT～高槻JCT間)

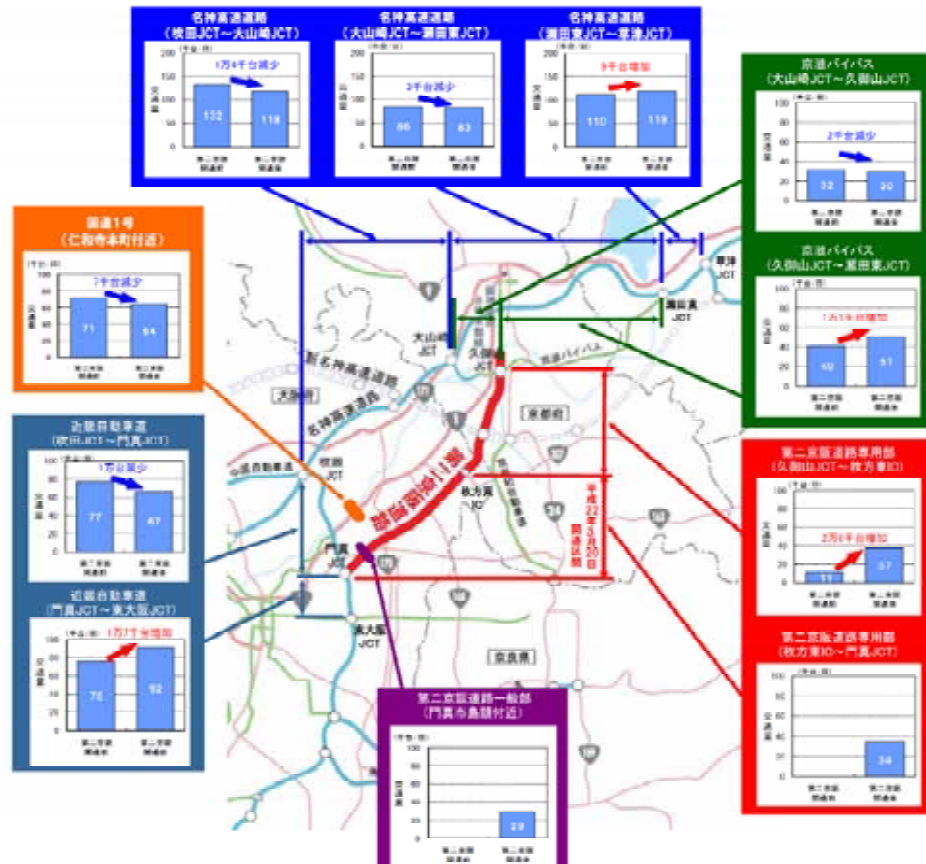
- ・ H15年12月 抜本的見直し区間に設定
- ・ H18年 2月 交通状況等を見て改めて着工の判断



第二京阪道路(枚方東IC～門真JCT)間16.9km)平成22年3月20日開通!!

開通6ヶ月後の交通状況の変化

- ・第二京阪道路(枚方東IC～門真JCT)の交通量は、専用部で約3万4千台/日、一般部で約2万9千台/日。
- ・一方、第二京阪道路に並行する名神高速道路(吹田JCT～大山崎JCT)では、約1万4千台/日減少、同じく国道1号では約7千台/日減少。
- ・また、第二京阪道路に接続する京滋バイパス(久御山JCT～瀬田東JCT)では、約1万1千台/日増加。



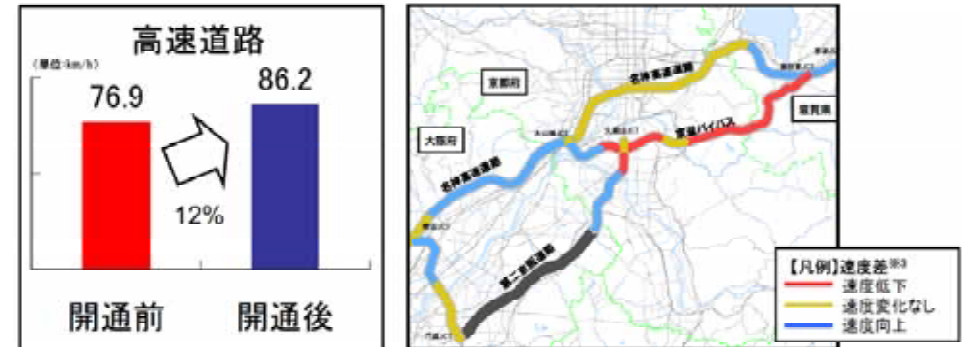
※第二京阪道路全線開通前
 第二京阪道路(専用部)・名神高速道路・京滋バイパス・近畿道
 国道1号：平成20年11月12日(水) 国土交通省調べ
 第二京阪道路全線開通後
 第二京阪道路(専用部)・名神高速道路・京滋バイパス・近畿道
 第二京阪道路(一般部)・国道1号：平成22年3月20日(水) 国土交通省調べ(速報値)

※高速道路の交通量は、交通量計測装置によるデータを速報値として記載。(加重平均)

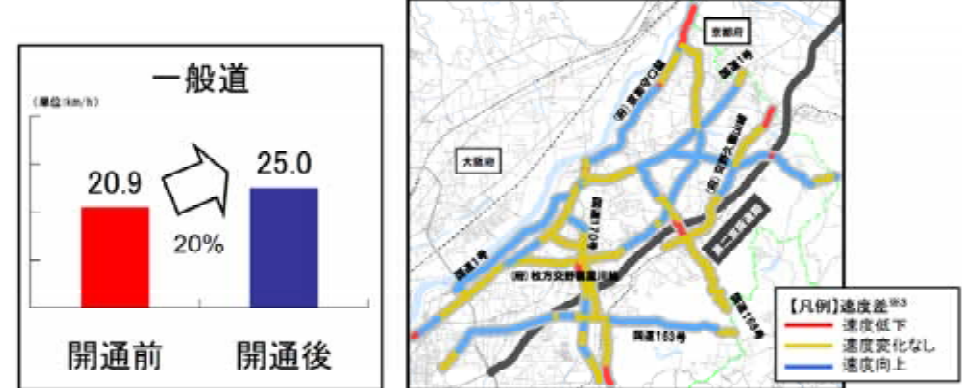
高速道路のピーク時速度が広域的に向上

- ・第二京阪道路の開通後、大阪～滋賀県南部間¹の高速道路のピーク時旅行速度が、毎時77km/h 86km/hへ、12%向上
- ・第二京阪道路の開通後、北河内地域²の一般道のピーク時旅行速度が、毎時21km/h 25km/hへ、20%向上

■ピーク時間帯の速度分布の変化(大阪～滋賀県南部間：高速道路)(夕方混雑時(平日18時台))



■ピーク時間帯の速度分布の変化(北河内地域：一般道)(夕方混雑時(平日18時台))



※1 名神:瀬田JCT～吹田JCT)・近畿道(吹田JCT～門真JCT)・京滋バイパス・第二京阪道路
 ※2 枚方市、交野市、龍野川市、新堀町市、大東市、門真市、守口市
 ※3 速度低下:開通後に2km/h以上速度が低下 速度変化なし:開通前後の速度差が±2km/h～±2km/hの間 速度向上:開通後に2km/h以上速度が向上

※高速道路は交通量計測装置による平均旅行速度
 一般道は民間プローブ・データによる平均旅行速度
 3:21～7:21(平日18時台平均) 一方向のみ 開通前:H21、開通後:H22

◇ITSの活用で、道路整備の効果をより透明に

路線毎の「平均速度」や「自動車交通の時間損失」は、ITSを活用した新しい交通計測(プローブ・カー・システム等)によるデータ精度の向上で可能となった道路サービスの新しい評価方法です。

プローブ・カー・システム:
 実際の車をセンサー代わりに、旅行時間等の交通データを取得するシステム



国際物流基幹ネットワークの整備状況 (国際コンテナ車通行支障区間)

国道250号 網干大橋 (耐荷重不足) H19年度解消済み

事業: 国道250号網干大橋
 事業期間: H16 ~ H19
 供用: H19年7月31日
 ボトルネック解消: H19年12月

補強工事完了後の網干大橋



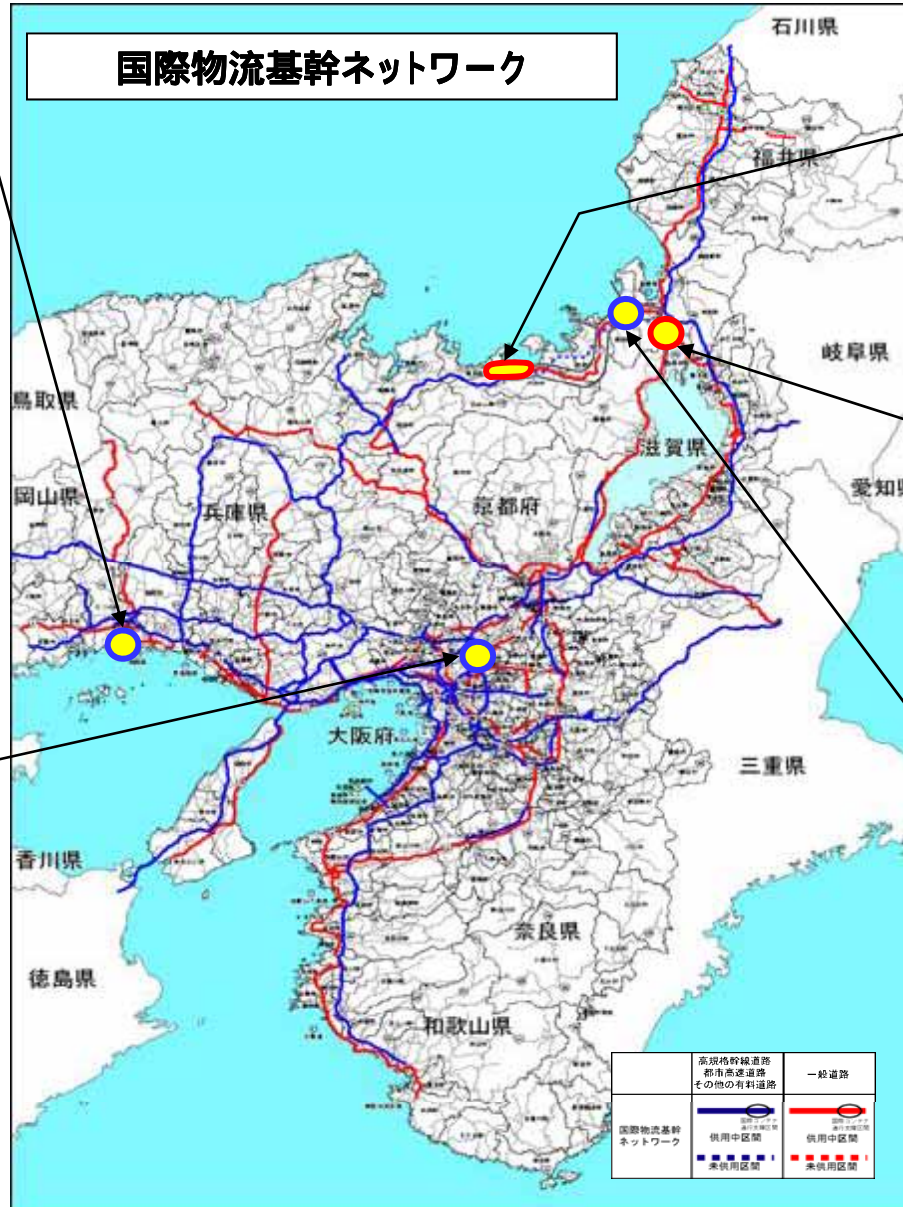
府道大阪中央環状線 鳥飼大橋 (耐荷重不足) H21年度解消済み

事業: 府道大阪中央環状線鳥飼大橋
 事業期間: H13 ~
 供用予定: H22年2月27日
 ボトルネック解消: H22年2月
 スーパー中枢港湾に係わるボトルネック箇所

鳥飼大橋



国際物流基幹ネットワーク



国道27号 後瀬山、勢浜、加斗トンネル (空間高不足)

事業: 近畿自動車道敦賀線
 事業開始: H8 ~ H23.7 (予定)

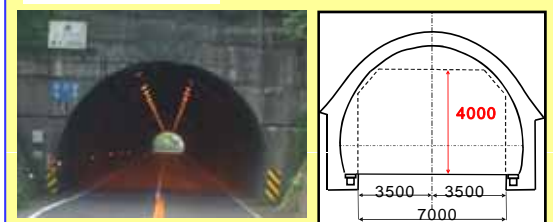
国道161号 疋田トンネル (幅員狭小)

事業: 国道161号愛発除雪拡幅
 事業開始: H15 ~

国道27号 樫トンネル (空間高不足) H20年度解消済み

事業: 国道27号美浜東バイパス
 事業開始: H3 ~
 供用: H21年3月29日
 ボトルネック解消: H21年3月

樫トンネル北側



都市内物流の効率化

(東大阪FQP協議会によるアクションプランの作成と実現に向けた取り組み)

大阪府:物流集積地における貨物車交通に関する課題解消(東大阪FQP協議会)

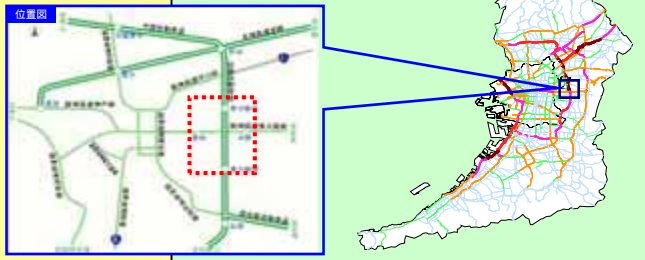
■取り組みの内容

施策の背景・目的

東大阪流通業務地区及びその周辺では、貨物車の荷待ちや休憩など路上駐車が日常化し、交通安全や地域環境への悪影響を与えている。このため、行政や警察、荷主、運送事業者など幅広く地域の関係者が連携し、物流集積地区における貨物車交通に関連する課題の解消に向けて取り組むため「東大阪FQP協議会」を平成18年11月に設置。

施策の内容

東大阪流通業務地区の位置図



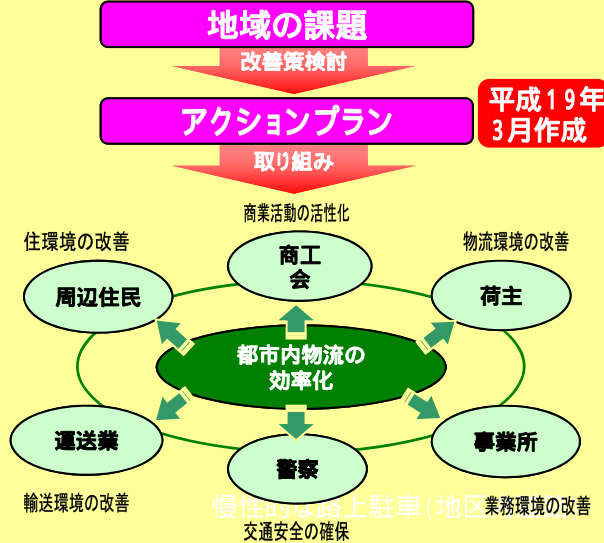
課題

貨物車等の路上駐車が慢性化し、生活環境の悪化等、地域に課題が存在



対象地域

パートナーシップによる取り組み



車線減少を継続中



違法駐車を抑制するため、片側4車線の内、中央分離帯側の1車線を規制

マナーアップイベント



マナーアップイベント

路上駐車が日常化している東大阪流通業務地区内において、府警本部及び所轄警察署と連携し、路上駐車マナーアップキャンペーンを実施

アクションプランの概要

関係者が諸課題の解決を目指し自主的に取り組むことができる施策

- | | | |
|---------------|---|--------------------------------|
| 1.トラックの路上駐車解消 | → | ・東大阪物流パークの整備
・駐車休憩スペースの情報発信 |
| 2.マイカーの路上駐車削減 | → | ・指導、啓発活動
・規制強化 |
| 3.走行ルートマネジメント | → | ・生活道路への流入抑制
・地区へのアクセスルートマップ |
| 4.地区の環境改善 | → | ・緑化、美化活動
・アイドリングストップ |

物流パークの状況

中環東大阪休憩所(北行) 中環東大阪休憩所(南行)
 ・物流パークとして、主にトラックを対象とした駐車休憩施設を整備(大阪府)
 ・両休憩所の不適切利用を防止するため、所轄警察署及び管理者による巡回を実施。



中環東大阪休憩所(南行き) 大型車駐車スペース増設後



中環東大阪休憩所(北行き)

H22・H23取り組み状況

- | H22年度の取り組み | H23年度の取り組み |
|---------------------------------------|-------------------------------|
| ・マナーアップイベント
・トラックドライバーへの情報提供に関する検討 | ・マナーアップイベント
・路上駐車の解消に関する検討 |

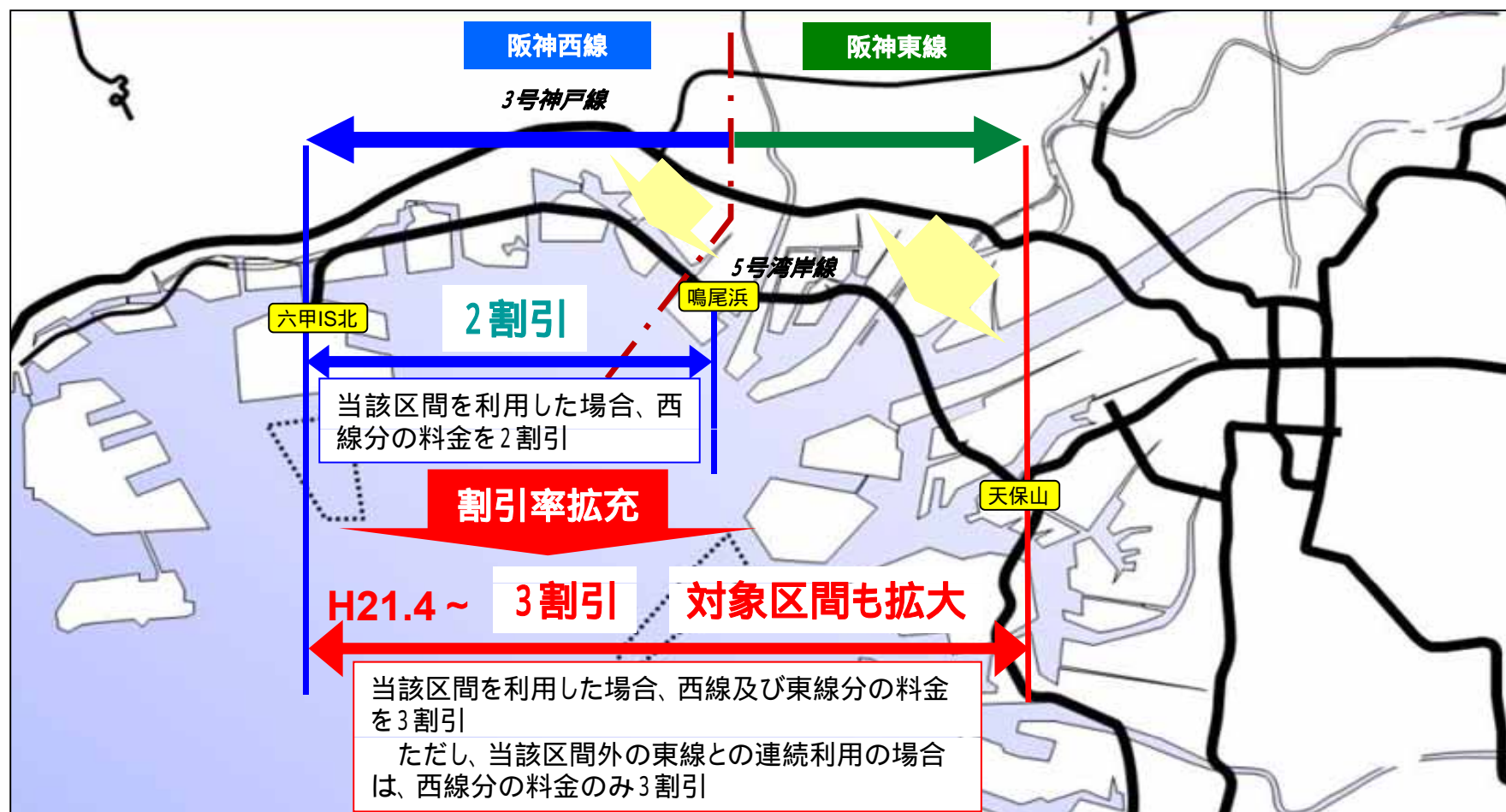
阪神高速の環境ロードプライシング

3号神戸線及び国道43号の沿道地域の環境改善を図るための環境ロードプライシング(大型車対象)について、H21.4から割引率・対象区間を拡充。更にH22.3から対象車両を拡大(普通車の一部)。

割引率: 2割引 3割引

対象区間: 六甲IS北～鳴尾浜 六甲IS北～天保山

対象車両: 料金大型車 料金大型車 + 料金普通車の一部



国費で行う湾岸線全体の迂回誘導割引(湾岸線連続利用割引、平日時間帯割引、土曜・休日割引)等を併用することで、約5割引になる。

高速道路のあり方検討有識者委員会の設置について



平成23年3月30日
国土交通省

高速道路のあり方検討有識者委員会の設置について

今後の高速道路の整備、管理、料金、負担のあり方について幅広く検討するため、「高速道路のあり方検討有識者委員会」を設置します。

1. 主な検討課題

- ① 無料化社会実験や料金割引の評価
- ② 将来の料金制度のあり方
- ③ 高速道路の整備手法

※ 秋頃までを目途にとりまとめを行う予定です。

※ 震災による影響を踏まえた、中間的なとりまとめを行う予定です。

2. 委員

裏面の通り

3. 第1回委員会の開催予定

平成23年4月7日(木) 17:00～18:00

※ 開催場所など詳細は後日あらためてお知らせします。

問い合わせ先：国土交通省 道路局 企画課
課長 補佐 木野 宏治 代表：03-5253-8111 (内線 37562)
直通：03-5253-8485

高速道路のあり方検討有識者委員会 委員

イエダ 家田	ヒトシ 仁	東京大学大学院工学系研究科 教授
イシダ 石田	ハルオ 東生	筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授
オウミ 逢見	ナオト 直人	日本労働組合総連合会 副事務局長
オオタ 太田	カズヒロ 和博	専修大学商学部 教授
オバタ 小幡	ジュンコ 純子	上智大学法科大学院 教授
カドワキ 門脇	ヒデハル 英晴	経済同友会 幹事
タケウチ 竹内	ケンゾウ 健蔵	東京女子大学現代教養学部 教授
テラシマ 寺島	シツロウ 実郎	(財)日本総合研究所 理事長
ムクサ 椋田	サトシ 哲史	日本経済団体連合会 常務理事
モリモト 森本	アツシ 淳之	日本商工会議所 地域活性化専門委員会委員

(敬称略)

(◎座長)

出典：「高速道路のあり方検討有識者委員会の設置について

(H23.3.30、国土交通省)」資料

高速道路の料金施策の経緯

高速道路の料金施策の経緯

料金割引

民営化

コスト削減等で会社割引をスタート
 (深夜3割引 (H16.11~) 通勤5割引 (H17.1~))

利便増進事業 (国が3兆円の債務を承継)

H20.10~ 深夜5割引等の拡充
 (緊急総合対策: 10年間)

H21.3.28~ 休日1000円スタート
 (生活対策: 2年間 (H23.3迄))

政 権 交 代

H22.4.9 上限制を中心とする
 料金割引案を発表 (廃案)

H23.2.16 新たな料金割引を発表
 休日1,000円+平日2,000円

無料化実験

(H15 新直轄事業方式 (無料) の導入)

H22.6.28~ 無料化実験スタート [H22予算: 1,000億円]
 実験延長1,625km (20%)

H23.2.9 H23実験計画案を策定 [H23予算: 1,200億円]
 全日全車 +約330km
 夜間大型 約1,500km

東北地方太平洋沖地震

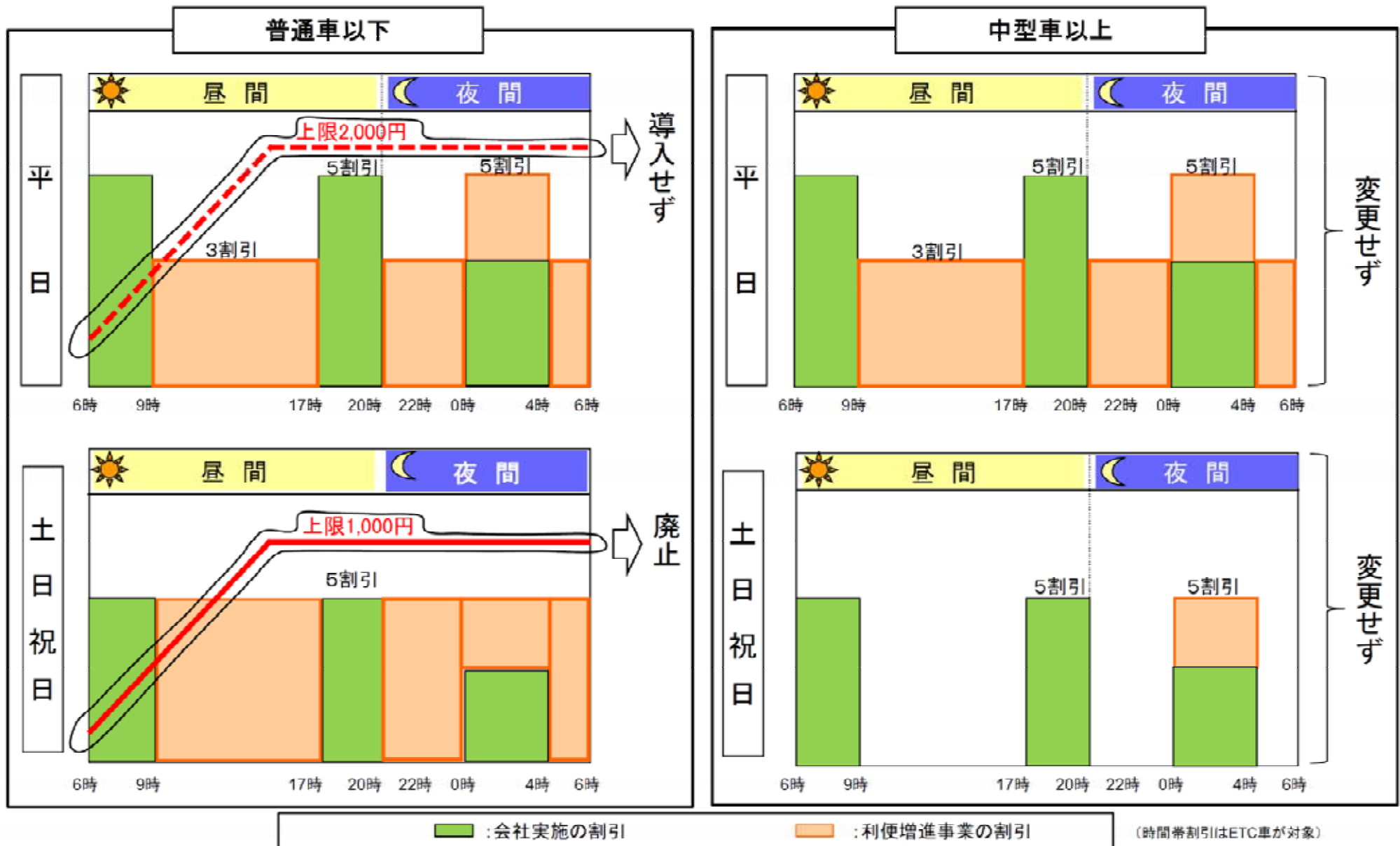
現在の割引の当面継続

- ① 休日1,000円、時間帯割引は当面継続
- ② 新たな割引 (平日2,000円) は追加しない

現在の無料化実験区間の当面継続

- ① 現在の無料化実験区間 (1,652km) は当面継続
- ② 新たな無料化実験区間 (追加330km+夜間大型) は追加しない

料金割引の変更 (NEXCO地方部の例)



注) 割引には各種条件がございますので、ご利用前に各社のホームページ等でご確認をお願いいたします。

出典: 「東日本大震災を踏まえた高速道路の料金について(H23.6.8、国交省)」資料

1次補正を踏まえた高速道路の料金について

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成23年6月8日

国土交通省道路局

別紙2

東日本大震災を踏まえた高速道路の料金について

1. 東北地方の高速道路の無料開放について

【別紙1参照】

・東日本大震災による被災者支援及び復旧・復興支援のため、東北地方(水戸エリアの常磐道を含む)を発着する被災者及び原発事故による避難者、トラック、バス(中型車以上)について無料開放します。

無料開放開始日: 平成23年6月20日(月)午前0:00 ~

・現在実施中の災害派遣等従事車両(ボランティア車両を含む)については、引き続き、無料開放を継続します。

注意: 上記の無料開放の措置を受けるためには、入口・出口ともに一般レーンを通行する必要がありますのでご注意ください。

(ETCは使用不可)

2. 1次補正を踏まえた高速道路の料金について

【別紙2参照】

・上限料金制(休日1,000円)を廃止し、無料化社会実験についても一時凍結します。

上限料金制廃止日: } 平成23年6月20日(月)午前0:00 ~
無料化実験一時凍結日: }

1次補正を踏まえた高速道路の料金について

1. 料金割引について

- 上限料金制(休日1,000円^{注1、注2})を廃止するとともに、平成24年度以降廃止することとしていたマイレージ割引を手当する。[NEXCO及び本四]

注1: 休日バス割引もあわせて廃止する

注2: 平日2,000円、本四とNEXCOとの乗継割引及びエコカー割引は導入しない

廃止日: 平成23年6月20日(月)午前0:00 ~

午前0:00より前に入口料金所を通過し、午前0:00以降出口料金所を通過した場合は、休日1,000円が適用されます。

- その他の割引は廃止せず、計画通り実施する。

注) 割高区間割引は8月頃から実施予定(開始日は後日お知らせします)

2. 無料化社会実験について

- 現在実施中の無料化社会実験は、一時凍結する。

一時凍結日: 平成23年6月20日(月)午前0:00 ~

午前0:00より前に入口料金所を通過し、午前0:00以降出口料金所を通過した場合は、実験の料金が適用されます。

1次補正を踏まえた高速道路の料金について

参考資料

休日1,000円及び無料化社会実験の終了前後の適用条件について

6月20日(月)午前0時になる前に入口料金所を通過し、6月23日(木)午前0時になる前に出口料金所を通過した場合に適用。^{注)}

6月20日(月)午前0時前後の適用条件の例

休日1,000円・無料化実験の終了

6/17(金)	6/18(土)	6/19(日)	6/20(月)	6/21(火)	6/22(水)
入	○	出	休日1,000円適用 無料化社会実験の対象		
入		○	休日1,000円適用 注) 無料化社会実験の対象	出	
		入		○	休日1,000円適用 無料化社会実験の対象
			入		出 休日1,000円の適用外 無料化実験の対象外(有料)

注) 本四高速の休日終日割引については、土・日をまたいだ場合は、対象となりません。

高速道路の有効活用・機能強化について

「高速道路の有効活用・機能強化に関する計画」に基づき、
平成21年6月 新規スマートインターチェンジ連結許可
(滋賀県2箇所、兵庫県1箇所、奈良県1箇所)

